

みんなで作ろう 安心の街

令和5年8月号 No. 109
(公財) 宮崎県防犯協会連合会

宮崎県の犯罪情勢（令和5年上半期）

今年上半期（1月～6月）における本県の刑法犯認知件数は、1,897件で、前年同期と比べて186件増加しています。県内の犯罪情勢は、次のとおりです。なお、本統計資料の数値は暫定値です。

○ 罪種別の認知件数

区分	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
令和5年	1,897	22	151	1,336	141	25	222
令和4年	1,711	17	150	1,154	141	17	232
増減	+186	+5	+1	+182	±0	+8	-10

※ 刑法犯認知件数の約7割は窃盗犯です。

○ 重要犯罪の認知件数

区分	総数	殺人	強盗	放火	強制性交等	略取誘拐等	強制わいせつ
令和5年	42	3	3	2	14	1	19
令和4年	28	3	2	7	5	0	11
増減	+14	±0	+1	-5	+9	+1	+8

※ 放火、強制性交等、強制わいせつの凶悪犯罪が増加しています。

○ 主要罪種・手口別の認知件数

区分	侵入盗	自転車盗	万引き	車上ねらい	詐欺	強制わいせつ	器物損壊等
令和5年	172	460	346	46	128	19	130
令和4年	101	428	268	45	128	11	134
増減	+71	+32	+78	+1	±0	+8	-4

※ 窃盗犯のうち、約34%は自転車盗です。

※ 自転車盗の約73%は施錠をしていませんでした。

※ 万引きの検挙人員は199人で、その約53.3%は65歳以上の高齢者です。

○ 特殊詐欺（うそ電話詐欺）の被害状況（全国は5月末、宮崎県は6月末現在）

区分	認知件数	前年同期比	被害額	前年同期比
全国	7,788	+1,703	153億6千万円	+28億8千万円
宮崎県	28	-3	1億1,345万円	-321万円

※ 認知件数、被害額ともに微減しています。

全国地域安全運動実施中 8/1(火)～8/31(木)

運動の重点

【共通重点】

① 子供と女性の犯罪被害防止

県民が不安に感じる強制わいせつ等の性犯罪が依然として後を絶ちません。特に夏の時期は、子供や女性が性犯罪の被害に遭う危険性が高まります。

② 特殊詐欺の被害防止

今年6月末の認知件数は、28件(前年同期-3件)ですが、被害額はすでに1億円を超えています。特に架空料金請求詐欺(16件)と還付金詐欺(5件)で全体の75%を占めています。一人で判断せず、警察安全相談電話(#9110)に電話してください。

【地域重点】

③ 乗り物や住宅の「鍵かけ運動」の推進

自転車盗難被害の約73%は無施錠です。二重ロックを心がけましょう。また、空き巣ねらいなどの侵入盗被害の多くは無締りです。外出時の鍵かけを徹底しましょう。